

ゴーゴー!! シニア・シルバー世代 活躍する高齢者 (シニア編)

高齢者のための就職支援講習
「ケアスタッフ」修了生

安井 忍さん

**これまでのキャリアは勲章になりません。
気持ちの切り替えが、新しいスキルアップにつながります。**

「高齢者のための就職支援講習」のケアスタッフコースを終了し、小規模なデイサービス事業所で介護に携わる安井 忍さん。自分が自分らしく働き、生きるために、新しいキャリアアップを積み重ねようとしています。



——現在、どのような仕事に就いていますか。

安井 平成26年の11月から、10人を限度とした小規模のデイサービス介護事業所で働いています。それまでは在宅酸素療法の仕事に就いていました。体内に酸素を充分に取り込めない患者さんで、自宅や介護施設などで治療している方を訪問し、機器の調整、メンテナンス、酸素の補充などを行っていました。

——現在の仕事に移ろうとしたきっかけは何だったのでしょうか。

安井 患者さんはそれぞれに悩みを持っていることに気付いたんです。これから自分はどうなるんだろう、家族への配慮や経済的な問題など、いろんな悩みを話しかけられました。私の仕事そのものは長くても10分くらいで終わりますし介護に関わる資格も不要です。そんなこともあって、患者さんに医療や医学、人の体のことなどを尋ねられても答えることができないんです。働くうちにそういう自分自身にも不安が出てきてしまいました。

——患者さんと接する中で疑問が生まれ、ポジティブな思いが広がっていったのですね。

安井 患者さんと一緒に考えながら何とかならないかなあと思いました。介護士の妻から介護の話も聞いていたので、ほかに人の役に立てる仕事はないだろうかと考え始めていました。そんなとき、妻が東京しごとセンターの「高齢者のための就職支援講習」のパンフレットを持ってきまして、ああこれだと、すぐに講習を受けることに決めました。

——コースは生活サービス分野のケアスタッフですね。3カ月間31講習日と就職支援講習の中でも長期ですね。

安井 同級生は14名でした。先生は皆さん現役で、一人ひとりがとても熱心で、講習についていくのが思っていた以上に大変でした。あれは先生の「本気」というんでしょうか(笑)。私たち生徒も3ヵ月一緒に過ごすのですからどんどん仲良くなっていきましたよ。

——講習終了後、いよいよ新しい職場を探すわけですが、就職活動はスムーズでしたか。

安井 7、8社にエントリーしたのですが、なかなか行きたいところが見つかりませんでした。それでも1ヵ月ほどで現在の事業所に就職することができました。

——決め手は何だったのですか。

安井 面接を受けたのは6社でしたが、面接時間がたった5分ということもありました。いつから働けるのか、今すぐ来られるのか、と労働力とだけしか見てくれない会社があることも知りました。ところが就職した事業所の面接時間は3時間だったんですよ。私たちは自分をよく知ってもらいたいと思っていますし、就職しようと思う会社のこともよく知りたいと思っています。とくにどんな信念で介護事業を行っているのだろうか。給料や待遇ではなく、会社のあり方が就職に於いては極めて大切なことだと思っていましたから、充実した3時間は就職への大きな決め手でした。

——事業所での1日を紹介してください。

安井 朝、利用者の方を車で迎えに行きます。事業所に戻って、折り紙、クラフト、散歩、食事、入浴など、その日によって異なったスケジュールが組まれています。大切なことは利用者の方々が自宅にいるような環境を提供することです。食事もスタッフと一緒に。メニューも私たちが考えて作っています。気が付くと、冷蔵庫の中に何があったかなあと考えたりしていますね(笑)。どうしたら地域の一員として豊かに暮らしていただけるか、日々心がけています。

——今の仕事に就く前と後、ご自身で変わったと感ずることはありますか。

安井 そうですね。それまではちょっとしたことで夫婦で言い合っていたことがなくなりました。以前ならイラっとしたこともグッと飲み込んで心の奥にしまっておけるようになりました。仕事から学んでいることもあるんでしょうか(笑)。

——これからセカンドキャリアとして就職を希望する方に大切なこととは何でしょうか。

安井 介護の業界は人手不足です。求人倍率は4倍もあります。施設のレベルや待遇なども大切ですが、自分が自分らしく働ける場を見つけることの方がもっと大切だと思います。20代から働き、積み重ねてきたキャリアやスキルはもちろん、働き方やモラルのあり方がまったく異なることを自覚してください。今までのキャリアは勲章にはなりません。気持ちの切り替えこそ、新しい自分らしさを磨くキャリアアップにつながります。

——シニア世代に期待されているものとは何だと思いますか。

安井 技術や経験は新しい仕事の場で身に付けられるでしょう。でも、何十年間をどのように生きてきたか若い人に伝えられるのはシニア世代だけです。それはひとつの義務ではないかなとも思います。

——最後に、介護をはじめ、再就職を目指す方々にメッセージをお願いします。

安井 介護制度はどんどん変わっていきます。新しい介護を創り出す戦力になってください。しごとセンターには、よいスタッフ、よい先生がたくさんいます。積極的に参加して、次へのステップをぜひ踏み出してください。

